

新刊案内



「さがしえ12つき」

なかざわくみこ



「おめでとうくまちゃん」

シャーリー・パレントン／ぶん
デイヴィッド・ウォーカー／え
福本友美子／やく

未来の社会学 ----- 若林幹夫
奈良大和路の紅葉 ----- 桑原英文・倉橋みどり
こんにちは、ユダヤ人です -- ロジャー・パルバース(他)
焼き菓子パーフェクトブック ----- 加藤千恵

作曲をしたい人の本 ----- 久米大作
日本人も悩む日本語 ----- 加藤重広
分水嶺 ----- 笹本稜平
特捜部Q-知りすぎたマルコー -- ユッシ・エズラ・オールスン



「 穂村弘 」

12月6日(土)に、セラトピア土岐にて「穂村弘講演会―言葉の不思議―」を開催します。講演の前に、現代短歌を代表する歌人であり、批評家、エッセイスト、そして絵本作家としても活躍する穂村弘さんの世界をご紹介します。

『手紙魔まみ、夏の引越し(ウサギ連れ)』。筆者に届いた「まみ」からの手紙をモチーフに、少女期のきらめきと死のにおいを短歌に閉じ込めた歌集です。

『短歌ください』。ルールは五・七・五・七・七だけ。穂村が選を務め、本の情報誌「ダ・ヴィンチ」に連載されている短歌投稿コーナーの単行本化です。読者投稿による新鮮な短歌のそれぞれの魅力を、彼の的確な講評がいっそう際立たせます。『短歌ください その2』も刊行されています。

『世界音痴』。運動音痴ではなく世界音痴。そろそろ40歳だというのに独身、両親と同居しているサラリーマンが、いかに「世界」に違和を感じつつ情けない日常を過ごしているかというのを、執拗かつ具体的に告白し、大きな反響を呼んだ初エッセイ集です。

『あかになんじゃ』。絵本の翻訳も多い著者が初めて手掛けた創作絵本です。赤忍者は真つ赤な忍者。お城に忍び込みますが、真つ赤な姿はすぐに見つかってしまいます。追い詰められてドロンドロン。変身上手な赤忍者が活躍する痛快娯楽活劇です。

12月の休館日

1日(月)、8日(月)、15日(月)、22日(月)
26日(金)、28日(日)~31日(水)

開館時間

火~金曜日 午前10時~午後7時
土・日曜日、祝日 午前10時~午後5時
図書館は無料でご利用いただけます。

お知らせ

平成27年3月22日(日)午後1時30分からセラトピア土岐・和展示室で「第3回読み聞かせフェスティバル」を開催します。図書館などで活動している読み聞かせボランティアの皆さんが日頃の成果を発表します。読み聞かせのほかペープサート(紙人形劇)やパネルシアターなど楽しい演目を計画していますので、ぜひお子さんと一緒にお出掛けください。